

インクの種類についての説明	<table border="1"> <tr> <th>溶剤</th> <th>顕色材</th> <th>インク種別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">水</td> <td>染料</td> <td>水性染料</td> </tr> <tr> <td>顔料</td> <td>水性顔料</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">有機溶剤</td> <td>染料</td> <td>油性染料</td> </tr> <tr> <td>顔料</td> <td>油性顔料</td> </tr> </table>			溶剤	顕色材	インク種別	水	染料	水性染料	顔料	水性顔料	有機溶剤	染料	油性染料	顔料	油性顔料
	溶剤	顕色材	インク種別													
	水	染料	水性染料													
		顔料	水性顔料													
	有機溶剤	染料	油性染料													
顔料		油性顔料														
<p>弊社が販売しているインクは、溶剤と着色剤の種類により、大きく4種類に分類されます。</p> <p>また、溶剤により「水性インク」と「油性インク」の2つに分かれます。 水性インクは溶剤として主に「水」を使用し、油性インクは主として「有機溶剤」を使用しています。</p> <p>顕色剤は「染料」と「顔料」の2つに分かれます。 水または有機溶剤に溶ける（溶解している）ものを「染料」といい、溶けない（分散している）ものを「顔料」といいます。</p>																

症状	No	主な原因	説明
書けなくなった (インクが出ない、かすれる)	1	ペン先を下向きに立てて保管した場合	顔料系インクを使用しているマーカー・サインペンは、ペン先方向に顔料が沈むためインク色の濃度が濃くなります。このようになると、ペン先にインクの顔料が詰まり、かすれたり書けなくなる場合があります。
	2	ペン先が乾燥した場合	インクの溶剤は「水」もしくは「揮発性有機溶剤」を使用しています。このため、キャップをせずに長時間放置した場合、ペン先から溶剤が蒸発してしまい、かすれたり書けなくなる場合があります。 ※ペン先の乾燥防止のため、ご使用後にはしっかりとキャップをしめてください。
	3	インクを使いきった場合	インクを使いきった場合は、書けなくなります。 ※製品により補充用インクをご用意しております。(※1)
	4	インクの寿命	マーカーやサインペンのインクには寿命があります。製造後約2年以上経過すると、経年変化でインク中の溶剤が徐々に蒸発していき、書けなくなる場合があります。快適な書き味でお使いいただくために、ご購入後はなるべくお早めに使い切ってくださいませよう願っています。 ※製品により補充用インクをご用意しております。(※2)
	5	インクジェット用紙などに書いた場合	インクジェット仕様のもの（インクジェット用紙、プリンタブルタイプのCD/DVD等）に筆記した場合、インク定着剤をこすり取ってしまうと、ペン先が目詰まりして書けなくなることがあります。
<p>(※1～2) 補充用インクに関して、詳しくは弊社ホームページよりご確認ください。 (こちらをクリックすると該当のページへリンクいたします。)</p>			

症状	No	主な原因	説明
インクの色が薄い	1	ペン先を上向きに立てて保管した場合	顔料系インクを使用しているマーカー・サインペンは、軸尾部方向に顔料が沈むため、書き始めのインク色の濃度が薄くなったり、色ムラが生じる場合があります。また、染料系インクのマーカー・サインペンでも、ペン先を上向きにした状態で長時間保管した場合は、重力でインクが徐々にタンク内に戻され筆記時にかすれる場合があります。 ※この場合は、ペンを横向きに寝かせた状態でしばらく放置してください。